

KIITO:

行政職員も、地域活動団体も、市民も共に学ぶ 俯瞰から学ぶ「クリエイティブ思考」講座

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおり講座を開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は「+クリエイティブ」を活動のコンセプトに掲げ、市民と共に神戸市や社会が直面している様々な課題解決に取り組んでいます。

今回の講座では、KIITOセンター長の永田宏和が、KIITOのフィロソフィーや課題解決に取り組む際の心構えと具体的な手法、そしてクリエイティブ思考を用いてこれまでに取り組んできた社会課題解決の実践例を余すことなく紹介します。

後半のプログラムでは、再開発予定地や未利用地など、使い方が定まっていない「空地」を題材に、再開発までの限られた期間を前提とした暫定的な使い方について考えるワークショップを実施します。

具体例として、新港地区に位置する再開発予定の空き地を取り上げながら、恒久的な整備や価値付けを目的とするのではなく、未利用状態の場所を期間限定でどのように「使ってみる」ことができるのか、またそのプロセスを通じてどのような可能性や関係性が生まれるのかを探ります。

【開催概要】

俯瞰から学ぶ「クリエイティブ思考」講座 一空地を、期間限定でどう使うか？—

日時：2026年3月4日（水）14:00～17:30

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）3階 KIITO:300

講師：永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）センター長）

参加費：無料

定員：約40名（事前申込制、先着順）

対象：行政職員、地域活動に関わる方々など、どなたでも

申込：ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください

申込期間：2月12日（木）15:00から KIITO ウェブサイトにて申し込み開始

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

【講師プロフィール】



永田宏和（企画、プロデューサー/KIITOセンター長）

1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001年「iop都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021年4月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪2009・水辺の文化座」「イザ！カエルキャラバン！」（2005～）「地震EXPO」（2006）「ちびっこうべ」（2012～）「EARTH MANUAL PROJECT展」（2013～）などがある。